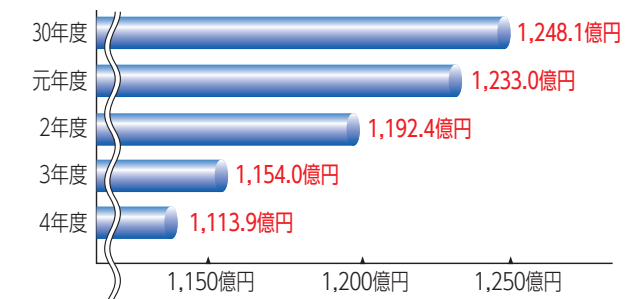


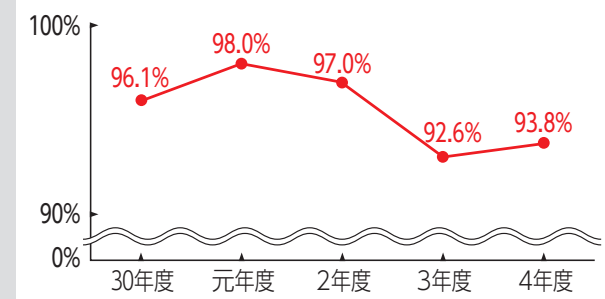
市債残高の推移(一般会計)

市債の残高は家計においてローンの残高に例えられます。将来負担を軽減させるため、残高を減少させていくことが大切です。4年度は、国が臨時財政対策債の発行額を縮減したことや、島しょ部等への情報通信網の整備などが完了したことにより、3年度よりも借入残高は減少しています。



経常収支比率の推移

市の通常の収入のうち、定期的な支出に使われる割合は93.8%。家計に例えると100万円の収入のうち約94万円が食費やローンの返済などの経常的な支出に使われていることとなります。この数値が高くなるほど臨時的な支出に対応しにくくなりますが、4年度は前年度より1.2%高くなりました。



4年度特別会計の決算額

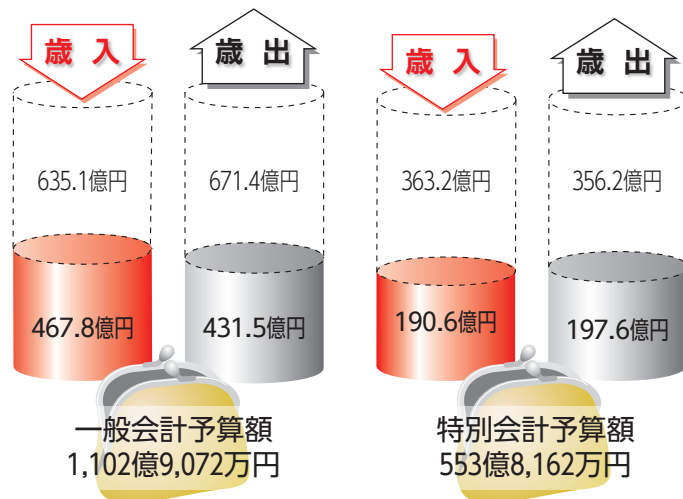
特別会計	歳入	歳出	令和4年度へ繰り越したお金	手元に残るお金
国民健康保険事業(事業勘定)	219億2,912万円	214億8,978万円	0万円	4億3,934万円
介護保険事業(保険勘定)	227億9,599万円	224億9,138万円	0万円	3億461万円
後期高齢者医療事業	42億3,277万円	41億8,687万円	0万円	1,640万円
港湾整備事業	5億8,982万円	5億8,964万円	18万円	0万円
臨海土地造成事業	10億6,897万円	10億1,707万円	0万円	519万円
集落排水事業	5億6,689万円	5億6,689万円	0万円	0万円
その他の特別会計	6億4,568万円	5億3,046万円	0万円	1億1,522万円
合計	517億3,766万円	508億5,672万円	18万円	8億8,076万円

特別会計は特定の事業を行うために、一般会計とは別の財布を設けてお金の管理をしています。特別会計の収支が悪化すると、それをカバーするために一般会計から特別会計へ繰り出すお金が増加する場合があります。そのため、一般会計の過度の負担にならないよう、各特別会計の財政状況の健全化に努めています。

5年度の予算執行状況

(9/30現在)

※両会計とも、今後開会される市議会で予算額を変更する場合があります。



市債・一時借入金の状況

市債の現在高

一般会計	1,055億9,690万円
特別会計	139億9,838万円

※一時借入金は、9/30現在ありませんでした。

市民一人当たり(人口206,283人)

一般会計	511,903円
特別会計	67,860円

市の財産

() 内は前年同時期

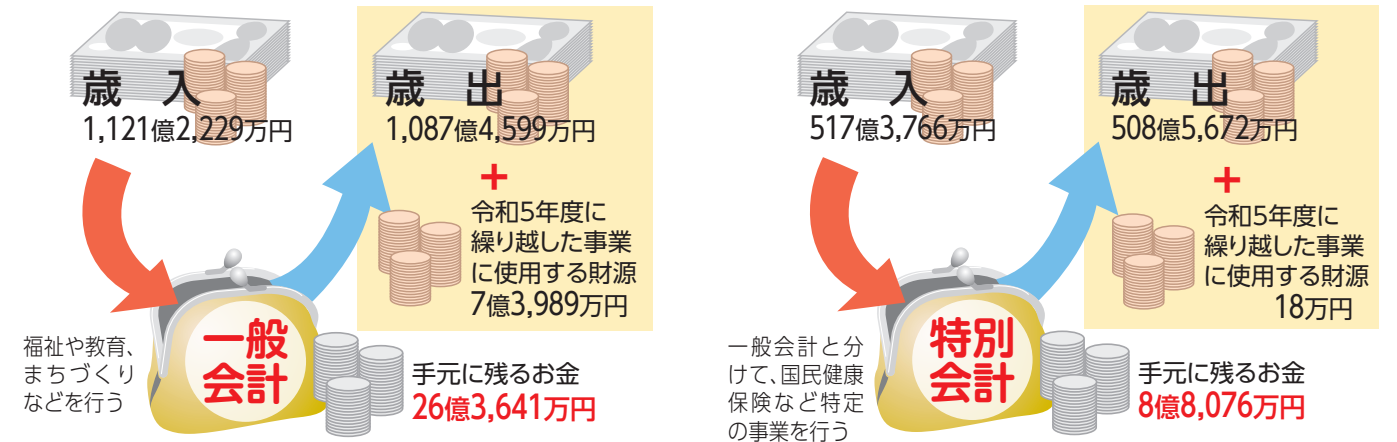
土地 27,156,092㎡ (27,151,919㎡)	建物 1,232,674㎡ (1,299,082㎡)
有価証券 3,910万円 (3,910万円)	基金 189億9,432万円 (164億8,503万円)

呉市の家計簿

令和4年度決算や令和5年度上半期予算の執行状況をお知らせします。

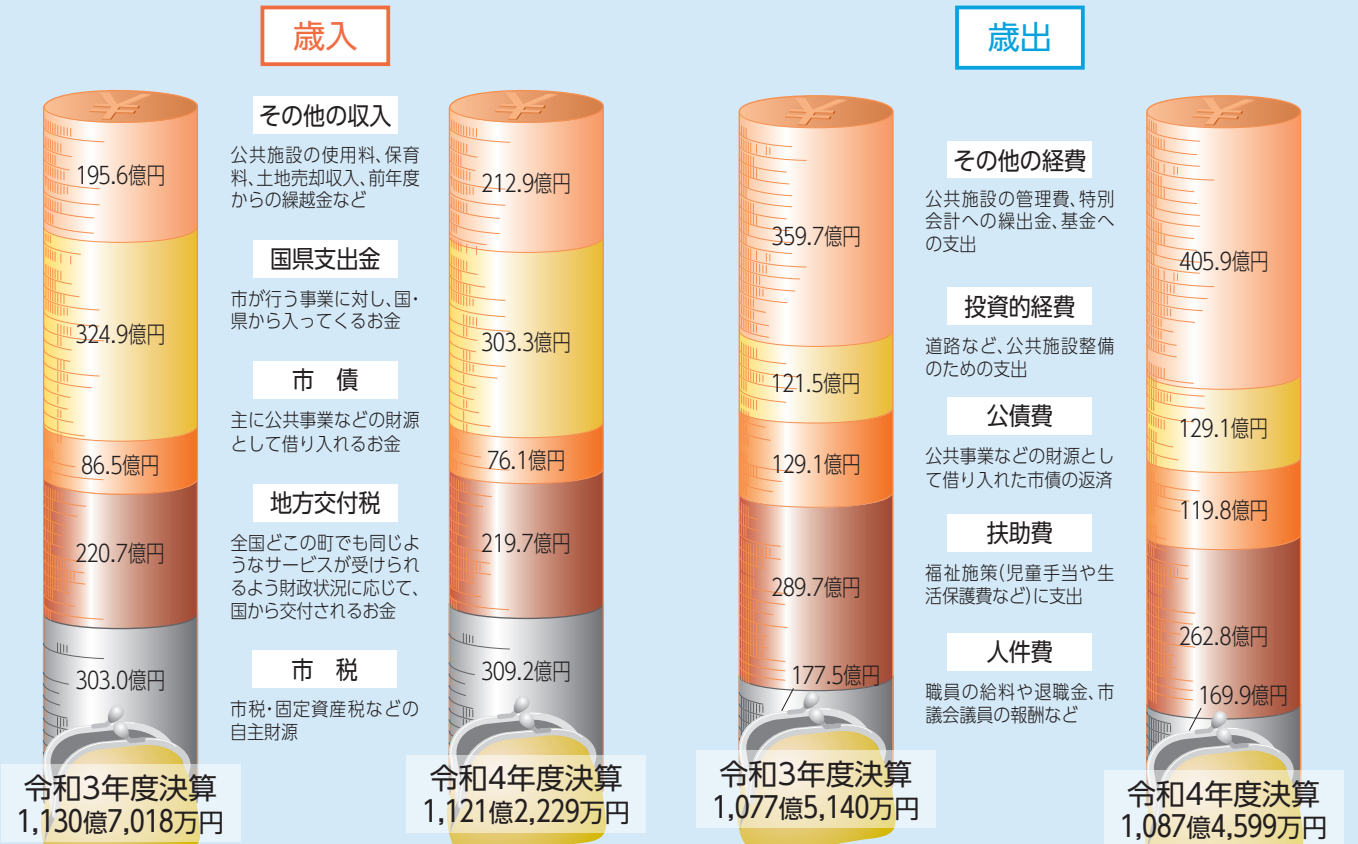
問 財政課 ☎ 25-3278

4年度決算



3年度・4年度の呉市の一般会計決算額を比較すると...

※消費税引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(29億5,242万円)は生活保護などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰入金を加えた社会保障費(一般財源149億765万円)に充当しています。



歳入は、3年度と比べて約10億円減少しました。繰越金が約23億円増加し、市債が約10億円、国庫支出金が約24億円減少したことが主な要因です。

歳出は、3年度と比べて約10億円増加しました。物件費が約19億円、普通建設事業費が約9億円、その他の経費のうち上下水道局が実施した水道基本料金免除の財源の全額負担で約9億円増加し、子育て世帯への臨時特別給付金の給付が約27億円減少したことが主な要因です。